



『ロータリーは世界をつなぐ』 Rotary Connects the World

RI会長 マーク・ダニエル・マローニー 第2590地区ガバナー 轟 淳次

川崎中原ロータリークラブ会報

KAWASAKI NAKAHARA R.C. WEEKLY/2019~2020

会長・徳安 久是 幹事・宮崎 玲児 会場監督・小林 正樹 会報委員長・市川 功一

事務所・〒211-0063 川崎市中原区小杉町 3-70-4 ホーユウパレス武蔵小杉 104

TEL.044-722-7282 FAX.044-722-0066 E-mail:info@nakahara-rc.com

◆例会場 ホテル精養軒 第1木曜日 PM12:30~ 第3木曜日 AM7:30~ TEL:044-711-8855

第 1469 回 (本年度 第 15 回)

令和 1 年 1 月 16 日 (木)

点 鐘 徳安 久是 会長

司 会 井元 雄一 会場監督

唱 和 「四つのテスト」

会員出席報告

本日	会員数	出席	欠席	出席率
	26名	14名	12名	63.64%
前々回(12月19日)	欠席11名	Make up 2名		77.27%

欠席者：今井会員、小泉会員、坂本会員、坂口会員、高木会員、都倉会員、渡久地会員、内藤会員

お客様紹介

- ◆相川 和宏 様 (東京西RC)
- ◆二村 政毅 様 (福岡城東RC)
- ◆小川 湧三 様 (川崎鷺沼RC)

クラブフォーラム

江口 進 職業奉仕委員長



フォーラムの開催にあたり、職業奉仕の理念をどのように盛り込むか。

職業奉仕 (Vocational Service) とは言うまでもなくロータリークラブの根幹をなす理念です。

一方、ロータリークラブ会員として、実際に職業奉仕を実践するにあたっては、二通りの考え方が認められます。

その一つは主として国際ロータリー (R I) が提唱する考え方であり、各クラブ又は地区ロータリーなどで実施する事業を通じ、自らの職業スキルを活かすというものです。

そしてもう一つは、これとは別に、会員各々が、自らの営む職業を通じ広く社会に奉仕し、こうした奉仕を通じ各々の職業をより高潔にするという、会員自身の職業概念を指すものです。そして、日本においては、後者こそ、職業奉仕概念の正統と考えられてきました。

古くは昭和 1 1 年、当時の大連ロータリークラブにおける「大連宣言」において、次の内容の宣言がなされています (一部抜粋)

「第一 すべからく事業の人たるに先立ちて道義の人たるべし。けだし事業の経営に全力を傾倒するは因って世を益せんためがためなり」

「第二・・・最もよく奉仕する者、最も多く満たさるべきことを吾人は疑わず」

そして現在においても、クラブ・地区等で実施される奉仕活動とは別に、会員自身が営む事業そのものを奉仕活動とする考え方が脈々と受け継がれています。

現在、R I ・地区等において、多くの金銭とマンパワーを投入する人道的慈善奉仕活動が行われており、もちろんこれには大きな社会的価値があります。

しかしながら、ロータリー活動の本質が個人奉仕である以上、卓話の内容としても、前述のとおり、「自らの営む職業を通じ広く社会に奉仕し、こうした奉仕を通じ各々の職業をより高潔にする」方針を貫く経営者の方から講話いただくような形にしようと考えております。



*配布資料／「ロータリーの友 1月号」より

100年かけて育んできた「日本の職業奉仕」

甲府北 RC 小林総一郎

「職業奉仕」「Vocational Service」という言葉を、どのようにお考えでしょうか。

日本のロータリーの創始者・米山梅吉(1868~1946)は最後まで「職業奉仕」という日本語訳に違和感があったのか、「ヴォケーションナル・サーヴィス」のままで通したといわれますが、渡米苦学経験のあるご自身の中では、むしろ英語のほうが理解しやすかったのかも知れません。

歴史上、慣習上、宗教上などにより、民族にはおのおの言葉の持つニュアンスがあり、それを感じながら使っていますから、日本人的に Vocational という言葉も、Service という概念も、正確にニュアンスまで理解するのが難しい場合もあります。その Vocational と Service を直訳して「職業奉仕」としたところに、よく分からない、どのように奉仕すればよいのかイメージが湧かない、という部分を、今に残したのではないかと思います。

多分、イギリスやアメリカの保守的思考回路では理解できたであろう「Vocational Service」。それは、それぞれの言葉の持つニュアンスを感じているからで、Vocational と Service が合わさっても、違和感なく理解することができたのでしょうか、日本においては「職業」と「奉仕」を別々に理解しながら「職業+奉仕」としたこと、ますます難しいことになったのだ、と私は思っていました。

(中略)

では、国際ロータリー(RI)的解釈とは別の概念を持つ、日本における職業奉仕は、どう説明するのでしょうか。この優れて思想哲学性を持った言葉の意味を、日本ではここまで100年かけて考え続けてきました。そして結果的に、全く同一ではないにしても「奉仕の理念(理想)」に極めて近似した思想として、ロータリーの根幹として定着している、ということではないでしょうか。

これを世界標準の職業奉仕とは呼ばない、という意見もありますが、それはそれでよいのです。RI 的解釈の職業奉仕は「自分の職業スキルを生かした奉仕活動をそう呼ぶ」であってよく、日本においては、もう一つ別の職業奉仕概念を育んできたということです。そしてこの「もう一つの職業奉仕」こそ、ロータリー本流の考え方であると取り扱えばよいのだと思います。

私は、職業を職業スキルだけで語るのは間違っていると思います。生活の糧を得ると同時に人生の大きな部分であり、その積み重ねが人をつくり、友愛を育み、人間形成をも担い、ひいては世のため人のためになるものであると広くみなければ、ロータリーの職業概念ではなくなります。

それらを内包した職業奉仕で、「決議 23・34」の「ロータリーは、基本的には、一つの人生哲学であ

り」ですから、奉仕の理念(理想)に近似するのは必然で、「ロータリーの目的」の第2項「職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものとする」とに通じてきます。そこで私は、日本における職業奉仕をこのように考えてみました。

辞書には載っていない4文字で一単語ですから、日本におけるロータリーが深め、編み出した独自の概念であると解釈すれば、RI や世界のロータリアンが感受している職業奉仕とは別な概念であって、「日本独自に深めてきたロータリー思想をそう呼ぶ」と考えてみたいと思います。

職業を通して奉仕する、その日々の過程にある諸々の心の事象をどのように調整するのかは、取りも直さずその人の人生指針や、どのように生きるのかの人生哲学にも関わりながら考え判断することになります。

「職業奉仕は人生哲学を語る場ではない」との反論もありますが、職業が持つ広範な領域を考えることは、その人の倫理基準や価値観にも関わることにもなりますので、日本において職業奉仕の思考を深めてきたこれまでの集積は、人生哲学をも含みながら、日本独自に深めてきた「日本の職業奉仕と呼べる思想」に深化してきたのだと思います。(以下略)

ニコニコ報告

◆相川 和宏様(東京西RC)

徳安さん、会長職ご苦勞様です。

◆小川 湧三様(川崎鷺沼RC)

本日はよろしくお願ひいたします。

◆徳安久是会長・宮崎玲児幹事

2020年初の早朝例会です。例年より暖かい日々が続きます。異常気象かと思いますが会員の皆様のご健康管理、十分にお気をつけ下さい。

◆職業奉仕委員会

本日はクラブフォーラムです。皆様のお知恵を拝借いたします。よろしくお願ひ申し上げます。

◆SAA一同

おはようございます。本日のクラブフォーラム楽しみです。活気のある元気なクラブにしていきたいと思います。

◆「みんなニコニコ」

島田 叔昌会員・藤村 伸一会員

神林 久雄会員・市川 功一会員

山本 剛会員

※1月9日のニコニコボックス累計額に誤りがありました。267,500円に訂正させていただきます。

ニコニコボックス	本日	16,000円	累計	283,500円
記念日ニコニコ	本日	0円	累計	55,000円